

東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

はっぴゃくやちよう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会

〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F

TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782

E-mail Tokyo.koureiki@gmail.com

—記念講演タイトル決定！—

「非戦の安全保障論・・・

戦争しない国であり続けるために」



講師の柳澤協二さんからメッセージが届きました

～戦後初めて、日本人のなかに戦争への危機感が高まっています。「どうすれば勝てるか」を考える議論だけが喧伝されていますが、「どうすれば戦争を避けられるか」という視点も必要です。私自身も高齢者として、後の世代のために、後悔しない選択肢を示していきたいと願っています～

柳澤協二

◎サブスローガン

ストップ軍拡 かがやけ人権

—よびかけ—

第36回日本高齢者大会東京実行委員会

事務局長 菅谷 正見

岸田政権は憲法を改悪し大軍拡と戦争への道に日本を引き込もうとしています。

岸田政権は世代間対立を煽りたて、それをテコに社会保障破壊の道への暴走を加速しています。その下で高齢者の命と暮らしの危機は急速に深刻化しています。

第36回日本高齢者大会は、力を合わせて戦争への道を阻むこと、高齢者の人権破壊の現状を直視し、日本高齢者人権宣言を闘いに生かして命と暮らしを守る運動に立ち上がることに、そのための砦となる地域の高齢期運動の体制を前進させること、を中心課題に据え、まなび、交流し、全国各地に持ち帰り実践する大会として、東京で開催されます。

2023年11月12日(日)13時から16時30分大正大学で講座・分科会を行い、同日夕刻には夜の企画が行われます。11月13日(月)10時15分から13時文京シビック大ホールで全体会を行います。全大会終了後には参加者によるデモを考えています。

第36回日本高齢者大会in東京に、全都の地域、団体から力を寄せていただくことを呼びかけます。

杉並区

地域の話題 第3回 杉並社保協の学習会

大企業の内部留保500兆円の一部を 国民の為に支出することを求める！

テーマ：「財源はある！内部留保
500兆円の一部を国民のく
らしと社会保障に使う！」

講師：小栗崇資先生
駒澤大学名誉教授

日時：2023年6月23日(金)

午後6時～8時

会場：東京土建杉並支部
3階ホール

参加費：無料



国民はコロナ禍に、物価上昇に・・・苦しい生活に喘いでいるのに多くの利益を上げながら、国際競争に負けながらガッチリ貯めこんでいる大企業。内部留保は、労働者に賃金として払うもの、設備投資に向けるもの。政府は、岸田自公政権は大軍拡には税金まで投入して膨大な軍備を用意しようとしています。不公正に貯めこんだ大企業の500兆円におよぶ内部留保を、国民のくらしと命を守り、適正に国民の為に吐き出し、賃上げや社会保障に回すよう求めます。税金として取るべきものを取ってない。不公正税制はやめるべき、なのに一向に改善しない。税制にどんな問題があるのか、なぜ内部留保を吐き出すことを国民が求めることができるのか、必要か。会計の専門家から学びます。
(学習会チラシより転載)

※参加申し込みは氏名・団体名記入の上 FAX03-3381-1405へ

企画担当

—講座・分科会の進捗状況—

学習講座の講師が次々と決まっています。期待大！

◎日本を「戦争する国」にしているのか

●渡辺治さん 一橋大学名誉教授

◎私たちのくらしが、なぜ破壊され続けるか

●佐々木憲昭さん 経済研究家 元衆議院議員

◎日本の医療の課題

●増田剛さん 医師 全日本民医連会長

◎防災とまちづくり

●福田信章さん 災害協働サポート東京事務局長

◎戦争する国づくりと教育

●中嶋哲彦さん 名古屋大学名誉教授

◎原発とエネルギー問題

●野口邦和さん 元日本科学者会議事務局長

分科会・パネルディスカッション・シンポジウムの講師やパネラー、助言者も確定してきています。魅力ある内容になるように日々検討を重ねています。

◆文化活動の分科会では短歌の公募があるかもよ～新日本歌人協会が担当 乞うご期待！！

地域の取り組みをお寄せください

あなたの地域で取り組んでいる要求運動や高齢者運動、集会やつどい、日本高齢者人権宣言の実践など、記事を募集しています。都内の取り組みを交流しあって第36回日本高齢者大会を盛り上げていきましょう。よろしくお願ひします

E-mail Tokyo.koureiki@gmail.com まで

